

物流不動産BTBに

チャンスあり

第14回

イーソードットコム・大谷巖一の

最終回は、物流不動産ビジネスで最も限られた物流用語を紹介する。交渉の中で使うと「おつ物流を知っているんだな」と思われ、親近感から話が円滑に進むでしょう。

△二種類の倉庫▽

自家倉庫=自社製品の保管

に使用する倉庫。車で例える

と白ナンバー。

営業倉庫=他人の荷物を保管料などの対価をもつて保管することができる倉庫。自家用倉庫に比べ、建築基準法などで厳しい要件が決められている。保管責任は倉庫会社となる。車でいうタクシーなどの緑ナンバー。

△物流戦略用語▽

3PL(サード・パーティ・ロジスティクス)=メーカーなどが

行っていた倉庫内での保管や運送の手配などを物流会社にアウトソーシングすること。物流効率化が図れる。メガ倉庫の借り手は、3PL得意とする物流企業が多い。

分かれるなど、独特な慣習が残っている。
荷役(いやく)=荷物を動かすこと。倉庫の入出庫作業や倉庫内の保管場所の移動を行うこと。

△物流施設用語▽

ベース=トラックが荷物を積み下ろしするために倉庫につけて止めるスペース。ベース数というとトラックが倉庫に一度につける台数を指す。

覚えよう 物流不動産用語

SCM(サプライチェーン・マネジメント)=調達から販売までの物の動きを最適化すること。メー

カ一側で考えることがほとん

ど。

ヤード=トラックがベースにつくために移動、回転するスペース。

ヤードが狭いと大型トラックなど

が倉庫につけることができなくな

る。

ホーム=ベースの倉庫側で床が

高くなっている部分のこと。高床

になり、預けている分だけのコスト

が発生する。保管料は3期(1

0日、11月20日、21日～月末)に

式(こうじょうしき)とも言う。

(おおたに・いわかず)=イーソードットコム会長)

△物流機器用語▽

ウイング車=トラックの荷箱部分の横と天井が羽のよう

に開くタイプ。フォークリフ

トで横から簡単に取ることができ

る(第7回に写真掲載)。

紙面の都合で最低限必要な物流用語をピックアップした。物流不動産ビジネスや用語についてもつ

と興味のある方はお気軽にお問い合わせください。最後までお付き合いいただきたい読者の皆様、ありがとうございました。

ドックレベラー=高床式倉庫のみにある高さ調整機器。トラックの床の高さは大型、中型、小型で異なるため、高床式の床と微妙な段差ができる。それを解消する。

パレット=荷物を載せるための台。日本では1100×1100ミリのものが一般的で、「イチイチパレット」と呼ばれる。フォークリフトでパレットごと運べば、一度に大量の荷物の入出庫が可能となる。